

日本青年心理学会研究委員会ワークショップ

「現代青年の生活時間—各種調査にみる余暇的時間とその推移」

日本青年心理学会研究委員会では、2月13日(土)に四天王寺大学にて、ワークショップを開催いたします。会員のみならずには、ふるってご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

日本青年心理学会研究委員会では、2015年から取り組む長期的テーマを「青年を取り巻く時代・文化」とし、時代や文化から、現代青年の心理・発達や対人関係について理解を深めようとしています。

2015年には、時代的・文化的素材としてマンガ・アニメ・ゲームを取り上げ、対象者のそれらの活動へのコミットの程度によるパーソナリティ的な特徴とともに、いずれにもコミットしない若者が大多数であることも明らかにすることができました。

ではそもそも、青年はどう時間を過ごしているのでしょうか。そのような生活時間に現代的な特徴はみられるのでしょうか。こうした関心のもと、2016年では「現代青年の生活時間」を取り上げます。

本ワークショップでは、年次テーマを深める題材として、各種調査で得られた青年の生活時間の過去20年前後における年次的推移を捉えます。また、現代にはゆとりがないと指摘されているため、特に余暇的時間に焦点を当て、それがどのように変化しているのか、現代青年における余暇をどのように考えたらよいのかを議論したいと思います。多くの方のご参加をお待ちしております。

日時：2016年2月13日(土)14:00~17:00 (終了後、懇親会がございます)

会場：四天王寺大学 4号館 212教室

アクセス：<http://www.shitennoji.ac.jp/ibu/guide/access.html>

キャンパスマップ：<http://www.shitennoji.ac.jp/ibu/guide/map.html>

話題提供：坂井敬子(静岡大学)

連絡先：ykosaka@wako.ac.jp (高坂康雅)

※ワークショップのみご参加の方は、直接会場に行ってください結構です。

懇親会にも参加される方は、予約の都合上、2月8日(月)までにご連絡いただけると幸いです。